

2020年度(令和2年度)

入学者選抜要項

- 外国語学部
- 経済学部
- 文学部
- 法学部
- 地域創生学群
- 国際環境工学部



北方キャンパス



ひびきのキャンパス



70th Anniversary Logo

公立大学法人
北九州市立大学

THE UNIVERSITY OF KITAKYUSHU

(2) 推薦入試

ア 表中の高等学校には中等教育学校、特別支援学校の高等部を含みます。

なお、高等学校、中等教育学校、特別支援学校高等部以外の学校を卒業した者及び2020年3月に卒業見込みの者は、本学において事前審査を行い、認められれば高等学校を卒業した者又は卒業見込みの者と同等であるとみなします。

イ 大学入試センター試験は課しません。

ウ 複数の学部（学群）・学科（学類）・推薦種別間で併願はできません。

外国語学部

学 科	推薦種別	募集人員	推 薦 要 件			学校長推薦枠	選考方法	基礎学力テスト等		
			基 礎 要 件	適性要件等	成績要件				時間	配点
英 米 学 科	全 国 推 薦	18	高等学校を卒業した者又は2020年3月に卒業見込みの者で、次のいずれかの公的な資格を取得した個人（記載レベル以上） ・ 実用英語検定：準1級 ・ TOEFL BT：68点（注1） ・ TOEFL PBT：520点（注1） ・ TOEIC L&R：640点（注1） ・ GTEC（3技能）：760点（注2） ・ GTEC（4技能）：1230点（注2、注3） ※資格を証明する書類を提出すること	次のいずれにも該当すること ①当該学科への入学意欲が強く、学業成績・人物ともに優れ、当該学科での勉学に適性があること ②出身学校長が責任をもって推薦できる者であること ③合格した場合は、入学を確約できる者であること	調査書の全体の評定平均値が3.5以上であること	制限なし	面接と調査書をそれぞれ点数化し、合計点をもとに総合的に判断して合格者を決定する。推薦書・入学希望理由は面接の際の資料とする。	英語による面接 (調査書)	—	240 60
	地 域 推 薦	9	次のいずれかに該当する者 ①北九州市内に所在する高等学校を卒業した者又は2020年3月に卒業見込みの者 ②北九州市外に所在する高等学校を卒業した者又は2020年3月に卒業見込みの者で、2019年4月1日以前から引き続き北九州市内に住所を有するもの		調査書の全体の評定平均値が3.7以上で、なおかつ外国語（英語）の評定平均値が40以上であること	1 高等学校あたり3名	小論文の成績と推薦書・調査書をそれぞれ点数化し、合計点をもとに総合的に判断して合格者を決定する。	英語による小論文 (推薦書 調査書)	90分	200 30
国際関係学科	全 国 推 薦	15	次のいずれかに該当する者 ①高等学校を卒業した者 ②高等学校を2020年3月に卒業見込みの者	次のいずれにも該当すること ①当該学科への入学意欲が強く、学業成績・人物ともに優れ、当該学科での勉学に適性があること ②出身学校長が責任をもって推薦できる者であること ③合格した場合は、入学を確約できる者であること	調査書の全体の評定平均値が3.8以上であること	1 高等学校あたり2名	小論文の成績と推薦書・調査書をそれぞれ点数化し、合計点をもとに総合的に判断して合格者を決定する。	小論文 (推薦書 調査書)	120分	100 50
	特 別 推 薦 (語学重視推薦)	5	高等学校を卒業した者又は2020年3月に卒業見込みの者で、高等学校在学中に高い語学力をもつことを示す、次のいずれかの資格を取得したもの（記載レベル同等以上） ・ 英検2級 ・ 国連英検C級 ・ TOEFL BT：61点（注1） ・ TOEFL PBT：500点（注1） ・ TOEIC L&R：600点（注1） ・ GTEC（3技能）：650点（注2） ・ GTEC（4技能）：1070点（注2、注3） ・ 中国語検定：3級 ・ 新HSK漢語水平考試：4級 ・ 韓国語能力試験：3級 ・ ハングル能力検定：3級 等 ※資格を証明する書類を提出すること		調査書の全体の評定平均値が3.8以上であること	制限なし	小論文の成績、調査書、推薦書、語学資格の実績をそれぞれ点数化し、合計点をもとに総合的に判断して合格者を決定する。	小論文 (推薦書 調査書 語学検定)	120分	100 50

(注1) TOEFL、TOEICの成績は、出願時から遡って2年間の成績を有効とします。提出すべき成績通知書は、TOEFL「受験者控えスコア票」、TOEIC「公式認定証」とします。TOEFL-ITP、TOEIC-IPでは出願できません。

(注2) GTEC（3技能）・GTEC（4技能）はオフィシャルスコアに限りません。

(注3) GTEC（4技能）は、CBTタイプを含みます。なお、「GTEC CBT」のスコアを保有しており、推薦要件として用いる場合は、「GTEC」でのスコア証明書の提出が必要です。

経済学部

学 科	推薦種別	募集人員	推 薦 要 件			学校長推薦枠	選考方法	基礎学力テスト等		
			基 礎 要 件	適性要件等	成績要件			時間	配点	
経済学科	全国推薦	25	高等学校を2020年3月に卒業見込みの者（商業の科目を20単位以上修得見込みの者を除く） (注1、注2)	次のいずれにも該当すること ①当該学科への入学意欲が強く、当該学科での勉学に適性があること ②出身学校長が責任をもって推薦できる者であること ③合格した場合は、入学を確約できる者であること	調査書の全体の評定平均値が3.8以上であること	1 高等学校あたり各学科1名	小論文の成績と推薦書・調査書・取得資格等申告書をそれぞれ点数化し、合計点をもとに総合的に判断して合格者を決定する。	小論文	90分	100
経営情報学科		25								
経済学科	地域推薦	30	次のいずれかに該当する者 ①北九州市内に所在する高等学校を2020年3月に卒業見込みの者（商業の科目を20単位以上修得見込みの者を除く） ②北九州市外に所在する高等学校を2020年3月に卒業見込みの者（商業の科目を20単位以上修得見込みの者を除く）で、2019年4月1日以前から引き続き北九州市内に住所を有するもの (注1、注2)	次のいずれにも該当すること ①当該学科への入学意欲が強く、当該学科での勉学に適性があること ②出身学校長が責任をもって推薦できる者であること ③合格した場合は、入学を確約できる者であること	調査書の全体の評定平均値が3.8以上であること	1 高等学校あたり各学科3名	小論文の成績と推薦書・調査書・取得資格等申告書をそれぞれ点数化し、合計点をもとに総合的に判断して合格者を決定する。	小論文 (推薦書 調査書 取得資格等 申告書)	90分	25
経営情報学科		30								
経済学科	商業科・総合	15	高等学校を2020年3月に卒業見込みの者で、商業に関する科目を20単位以上修得見込みのもの (注2)	次のいずれにも該当すること ①当該学科への入学意欲が強く、当該学科での勉学に適性があること ②出身学校長が責任をもって推薦できる者であること ③合格した場合は、入学を確約できる者であること	調査書の全体の評定平均値が4.3以上であること	1 高等学校あたり各学科2名	小論文の成績と推薦書・調査書・取得資格等申告書をそれぞれ点数化し、合計点をもとに総合的に判断して合格者を決定する。	小論文	90分	25
経営情報学科		15								

(注1) 地域推薦に出席できる者は全国推薦の推薦要件も満たしているもので、いずれかを選択することができます。
(注2) 卒業見込みの者には、留学等により2019年4月1日以降に高等学校を卒業できる者を含みます。

文学部

学 科	推薦種別	募集人員	推 薦 要 件			学校長推薦枠	選考方法	基礎学力テスト等		
			基 礎 要 件	適性要件等	成績要件			時間	配点	
比較文化学科	推全国	27	高等学校を卒業した者又は2020年3月に卒業見込みの者で、地域推薦の基礎要件に該当しないもの (注1)	次のいずれにも該当すること ①当該学科への入学意欲が強く、当該学科での勉学に適性があること ②出身学校長が責任をもって推薦できる者であること ③合格した場合は、入学を確約できる者であること	調査書の全体の評定平均値が3.5以上であること	1 高等学校あたり4名	小論文の成績と推薦書・調査書をそれぞれ点数化し、合計点をもとに総合的に判断して合格者を決定する。	小論文	120分	200
人間関係学科		13								
比較文化学科	地域推薦	30	次のいずれかに該当する者 ①北九州市内に所在する高等学校を卒業した者又は2020年3月に卒業見込みの者 ②北九州市外に所在する高等学校を卒業した者又は2020年3月に卒業見込みの者で、2019年4月1日以前から引き続き北九州市内に住所を有するもの (注1)	次のいずれにも該当すること ①当該学科への入学意欲が強く、当該学科での勉学に適性があること ②出身学校長が責任をもって推薦できる者であること ③合格した場合は、入学を確約できる者であること	調査書の全体の評定平均値が3.5以上であること	1 高等学校あたり6名	小論文の成績と推薦書・調査書をそれぞれ点数化し、合計点をもとに総合的に判断して合格者を決定する。	小論文 (推薦書 調査書)	120分	30
人間関係学科		12								
比較文化学科	特別推薦	5	高等学校を卒業した者又は2020年3月に卒業見込みの者で、次のいずれかの要件を満たすもの ①高等学校在学中に文化系活動において、都道府県大会6位以内又はそれと同等以上の優秀な成績を修めた出場部員 種目例：合唱、吹奏楽、書道、絵画、演劇、放送、英語弁論等 ②高等学校在学中に体育系活動において、都道府県大会8位以内又はそれと同等以上の優秀な成績を修めた出場選手 種目例：野球（硬式・軟式）、テニス（硬式・軟式）、サッカー、ラグビー、バスケットボール、卓球等 ③高等学校在学中に継続した社会活動において、優れた実績を残し又は特別な能力を発揮した個人（活動例） ・日本赤十字社の奉仕活動 ・共同募金会の奉仕活動 ・校外内におけるボランティア活動 ④高等学校在学中に次のような資格を取得した個人 例（記載レベル同等以上） ・実用英語検定：準1級 ・TOEFL iBT：61点（注2） ・TOEFL PBT：500点（注2） ・TOEIC L&R：620点（注2） ・GTEC（3技能）：705点（注3） ・GTEC（4技能）：1150点（注3、注4） ・実用英語検定：準1級 ・独語技能検定：準1級 ・ワープロ検定：1級 ・基本情報技術者 等 ※別に活動（又は資格）を証明する書類を提出すること	次のいずれにも該当すること ①当該学科への入学意欲が強く、当該学科での勉学に適性があること ②出身学校長が責任をもって推薦できる者であること ③合格した場合は、入学を確約できる者であること	調査書の全体の評定平均値が3.0以上であること	制限なし (注5)	小論文の成績、推薦書、活動・資格等の実績、調査書等を総合的に判断して合格者を決定する。	小論文	120分	-
人間関係学科		5								

(注1) 地域推薦の推薦資格を満たす者の全国推薦出願を認めません。
(注2) 提出すべき成績通知書は、TOEFLでは「受験者控えスコア票」、TOEICでは「公式認定証」とします。なお、TOEFL-ITP、TOEIC-IPでは出願できません。
(注3) GTEC（3技能）・GTEC（4技能）はオフィシャルスコアに限ります。
(注4) GTEC（4技能）は、CBTタイプを含みます。なお、「GTEC CBT」のスコアを保有しており、推薦要件として用いる場合は、「GTEC」でのスコア証明書の提出が必要です。
(注5) 同一高等学校における同一業績による特別推薦合格者は、各学科1高等学校あたり1名に限定します。

法学部

学 科	推薦種別	募集人員	推 薦 要 件			学校長推薦枠	選考方法	基礎学力テスト等		
			基 礎 要 件	適 性 要 件 等	成績要件			時間	配点	
法 律 学 科	全 国 推 薦	57	高等学校を卒業した者又は2020年3月に卒業見込みの者	次のいずれにも該当すること ①法学部への入学意欲が強く、学業成績・人物ともに優れ当該学科での勉学に適性があること ②出身学校長が責任をもって推薦できる者であること ③合格した場合は、入学を確約できる者であること	調査書の全体の評定平均値が3.5以上であること	制限なし	小論文の成績と推薦書・調査書をそれぞれ点数化し、合計点をもとに総合的に判断して合格者を決定する。	小論文 (推薦書 調査書)	120分	300
政 策 学 科		23								

地域創生学群

学 類	推薦種別	募集人員	推 薦 要 件			学校長推薦枠	選考方法	基礎学力テスト等		
			基 礎 要 件	適 性 要 件 等	成績要件			時間	配点	
地 域 創 生 学 類	全国推薦 (地方創生推薦)	10	高等学校を卒業した者又は2020年3月に卒業見込みの者	次のいずれにも該当すること ①地域の課題に対して強い関心を持っており、地域の課題解決に向けた取り組みのアイデアや能力を持っている者であること ②出身学校長が責任をもって推薦できる者であること ③合格した場合は、入学を確約できる者であること	調査書の学習成績概評がA段階に属すること	1 高等学校あたり1名	事前課題に基づく面接、推薦書、調査書、入学希望理由書をもとに、総合的に判断して合格者を決定する。	面接 事前課題 推薦書 調査書 入学希望理由書	-	200
	特別推薦 (活動実績推薦)	10	高等学校を卒業した者又は2020年3月に卒業見込みの者で、次のいずれかの要件を満たすもの ①高等学校在学中に文化系活動において、都道府県大会6位以内又はそれと同等以上の優秀な成績を修めた出場部員 種目例：合唱、吹奏楽、書道、絵画、演劇、放送、英語弁論等 ②高等学校在学中に体育系活動において、都道府県大会8位以内又はそれと同等以上の優秀な成績を修めた出場選手 種目例：野球(硬式・軟式)、テニス(硬式・軟式)、サッカー、ラグビー、バスケットボール、卓球等 ③高等学校在学中に継続した社会活動において、優れた実績を残し又は特別な能力を発揮した個人(活動例) ・日本赤十字社の奉仕活動 ・共同募金会の奉仕活動 ・校内外におけるボランティア活動 ※別に活動(又は資格)を証明する書類を提出すること	次のいずれにも該当すること ①卓越した能力を活かして、リーダー的存在として地域に貢献できる活動へ取り組む意欲がある者であること ②出身学校長が責任をもって推薦できる者であること ③合格した場合は、入学を確約できる者であること	調査書の全体の評定平均値が3.5以上であること	1 高等学校あたり2名	面接、推薦書、活動実績、調査書等を総合的に判断して合格者を決定する。	面接 推薦書 活動実績に関する資料 調査書 入学希望理由書	-	200

国際環境工学部

学 科	推薦 種別	募集 人員	推 薦 要 件			学校長 推薦枠	選考方法	基礎学力テスト等	
			基 礎 要 件	適性要件等	成 績 要 件			時間	配点
エネルギー 循環化学科	全 国 推 薦	7	高等学校（工業科・総合学科推薦の基礎要件に該当する者を除く）を卒業した者又は2020年3月に卒業見込みの者	次のいずれにも該当すること ①志望する学科への入学意欲が強く、学業成績・人物とも優れ、当該学科での勉学に適正があること（高等学校で物理及び化学を履修していることが望ましい） ②出身学校長が責任をもって推薦できる者であること ③合格した場合は、入学を確約できる者であること	化学及び物理を履修しており、化学・物理・数学のいずれかの評定平均値が4.0以上であること	1 高等学校あたり各学科2名	総合問題と面接をそれぞれ点数化し、合計点をもとに総合的に判断して合格者を決定する。 推薦書・調査書・入学希望理由書は面接の際の資料とする。	総合問題 (注1) 120分 60 面接(注2) - 40	
機械システム 工 学 科		5			次のいずれかに該当する者 ①調査書の全体の評定平均値が3.5以上であり、かつ数学、理科、外国語のうちいずれか1教科の評定平均値が5.0であること ②調査書の全体の評定平均値が4.0以上であること				
情報システム 工 学 科		8	高等学校（工業科・情報科・総合学科推薦の基礎要件に該当する者を除く）を卒業した者又は2020年3月に卒業見込みの者		調査書の全体の評定平均値が3.5以上であること	1 高等学校あたり各学科4名			
建 築 デザイン学科		6	高等学校（工業科・総合学科推薦の基礎要件に該当する者を除く）を卒業した者又は2020年3月に卒業見込みの者		次のいずれかに該当する者 ①調査書の全体の評定平均値が3.5以上であり、かつ数学、理科、外国語のうちいずれか1教科の評定平均値が5.0であること ②調査書の全体の評定平均値が4.0以上であること				
環 境 生 命 工 学 科		5	高等学校の工業に関する学科又は総合学科を卒業した者で、工業に関する科目を20単位以上修得したもの又は2020年3月に卒業見込みの者で、工業に関する科目を20単位以上修得見込みのもの		数学または理科（物理、化学、生物のいずれか）の評定平均値が3.5以上であること				
エネルギー 循環化学科	工 業 科 ・ 情 報 科 ・ 総 合 学 科 推 薦 (情 報 科 推 薦 は 情 報 シ ス テ ム 工 学 科 の み	若 干 名	高等学校の工業に関する学科又は総合学科を卒業した者で、工業に関する科目を20単位以上修得したもの又は2020年3月に卒業見込みの者で、工業又は情報に関する科目を20単位以上修得見込みのもの	調査書の全体の評定平均値が4.5以上であること	1 高等学校あたり各学科4名(但し機械システム工学科は2名)	総合問題 (注1) 120分 40 面接(注2) - 60			
機械システム 工 学 科									
情報システム 工 学 科									
建 築 デザイン学科									
環 境 生 命 工 学 科									

(注1)自然科学、工業技術、環境技術を題材として、理数系（数学、物理、化学）の基礎的な理解力、思考力、表現力を総合的に評価します。ただし、環境生命工学科は「生物」の選択も可とします。

また、建築デザイン学科については、造形とそれに関する問題を含みます。

(注2)面接では口頭試問を実施する場合があります。

(3) AO入試

- ア 表中の高等学校には中等教育学校、特別支援学校の高等部を含みます。
イ 大学入試センター試験は課しません。

外国語学部

学 科	募集人員	出 願 資 格	選 考 方 法	基 礎 学 力 テ ス ト 等		
				時間	配点	
英 米 学 科	20	本学への入学を強く希望し、合格した場合は入学を確約できる者で、出願時において次の各号のいずれかに該当するもの ① 高等学校を卒業した者又は2020年3月に卒業見込みの者 ② 通常の課程による12年の学校教育を修了した者又は2020年3月に修了見込みの者 ③ 外国において学校教育における12年の課程を修了した者又は2020年3月までに修了見込みの者又はこれに準ずる者で文部科学大臣の指定したもの ④ 文部科学大臣が高等学校の課程と同等の課程を有するものとして認定した在外教育施設の当該課程を修了した者又は2020年3月に修了見込みの者 ⑤ 専修学校の高等課程（修業年限が3年以上であること、その他の文部科学大臣が定める基準を満たすものに限る。）で文部科学大臣が別に指定するものを文部科学大臣が定める日以後に修了した者又は2020年3月に修了見込みの者 ⑥ 文部科学大臣の指定した者 ⑦ 高等学校卒業程度認定試験規則による高等学校卒業程度認定試験に合格した者（旧規定による大学入学資格検定に合格した者を含む。）又は2020年3月31日までに合格見込みの者で、2020年3月31日までに18歳に達するもの ⑧ 本学において、個別の入学資格審査により、高等学校を卒業した者と同等以上の学力があると認定された者で、2020年3月31日までに18歳に達するもの	〈1次選考〉 英語による模擬授業の受講後、筆記試験を課す。筆記試験は、模擬授業の内容の理解度及びそれに基づく思考力・表現力を見る試験（英文和訳及び英作文を含む。）とし、募集人員の2倍程度の範囲内で2次選考対象者を決定する。	英語による模擬授業 筆記試験	45分 90分	} 150
			〈2次選考〉 1次選考の結果、面接及び自己推薦書（1200字）を総合的に評価して合格者を決定する。	面接（注1） （模擬授業に関するディスカッション、自己推薦書を含む。）	—	
国際関係学科	10	⑥ 文部科学大臣の指定した者 ⑦ 高等学校卒業程度認定試験規則による高等学校卒業程度認定試験に合格した者（旧規定による大学入学資格検定に合格した者を含む。）又は2020年3月31日までに合格見込みの者で、2020年3月31日までに18歳に達するもの ⑧ 本学において、個別の入学資格審査により、高等学校を卒業した者と同等以上の学力があると認定された者で、2020年3月31日までに18歳に達するもの	〈1次選考〉 小論文の成績に基づき、募集人員の2倍程度の範囲内で2次選考対象者を決定する。	小論文	60分	} 150
			〈2次選考〉 1次選考の結果、集団討論、面接及び自己推薦書（1200字）を総合的に評価して合格者を決定する。	集団討論 面接 （自己推薦書）	—	

（注1）2次選考の面接は、1次選考の英語による模擬授業の理解度などを見るために、ディスカッションも課します。

地域創生学群

学 類	募集人員	出 願 資 格	選 考 方 法	基 礎 学 力 テ ス ト 等		
				時間	配点	
地域創生学類	60	本学への入学を強く希望し、合格した場合は入学を確約できる者で、出願時において次の各号のいずれかに該当するもの ① 高等学校を2019年4月から2020年3月に卒業した者又は卒業見込みの者 ② 通常の過程による12年の学校教育を2019年4月から2020年3月に修了した者又は修了見込みの者 ③ 外国において学校教育における12年の課程を2019年4月から2020年3月に修了した者又は修了見込みの者又はこれに準ずる者で文部科学大臣の指定したもの ④ 文部科学大臣が高等学校の課程と同等の課程を有するものとして認定した在外教育施設の当該課程を2019年4月から2020年3月に修了した者又は修了見込みの者 ⑤ 専修学校の高等課程（修業年限が3年以上であること、その他の文部科学大臣が定める基準を満たすものに限る。）で文部科学大臣が別に指定するものを文部科学大臣が定める日以後に修了した者又は修了見込みの者（2019年4月から2020年3月までにこれに該当する者又は該当する見込みの者に限る） ⑥ 文部科学大臣の指定した者（2019年4月から2020年3月までにこれに該当する者又は該当する見込みの者に限る） ⑦ 高等学校卒業程度認定試験規則による高等学校卒業程度認定試験に2019年4月から2020年3月までに合格した者又は合格見込みの者で、2020年3月31日までに18歳に達するもの ⑧ 本学において、個別の入学資格審査により、高等学校を卒業した者と同等以上の学力があると認定された者で、2020年3月31日までに18歳に達するもの	〈1次選考〉 模擬授業の受講とそれに対する理解度を見るレポートを課し、募集人員の2倍程度の範囲内で2次選考対象者を決定する。	模擬授業 レポート	45分 90分	} 200
			〈2次選考〉 1次選考の結果、集団討論、面接及び自己推薦書（1200字）（注1）を総合的に評価して合格者を決定する。	集団討論（注2） 面接 （自己推薦書）	—	

（注1）地域創生学群が指定する事業に参加した者は、参加したことを証明するものを添付することで自己推薦書に記載することができます。記載された内容については、評価する際の加点要素として取り扱います。

（注2）集団討論は、グループワークを行うこともあります。

(4) 社会人特別選抜

- ア 表中の高等学校には中等教育学校、特別支援学校の高等部を含みます。
イ 大学入試センター試験は課しません。

法学部

学 科	募集人員	出 願 資 格	選 考 方 法	基 礎 学 力 テ ス ト 等	
				時間	配点
法 律 学 科	5	2020年4月1日現在年齢満22歳以上で、出願時において次の各号のいずれかに該当する者 ① 高等学校を卒業した者又は2020年3月に卒業見込みの者 ② 通常の課程による12年の学校教育を修了した者又は2020年3月に修了見込みの者 ③ 学校教育法施行規則第150条の規定により高等学校を卒業した者と同等以上の学力があると認められる者	面接、入学希望理由書を総合して合格者を決定する。	面接 (入学希望理由書)	— } 200
政 策 学 科	3				

※法律学科と政策科学科をそれぞれ第一志望、第二志望として出願することができます。

地域創生学群

学 類	募集人員	出 願 資 格	選 考 方 法	基 礎 学 力 テ ス ト 等	
				時間	配点
地域創生学類	若干名	2020年4月1日現在年齢満21歳以上で、出願時において次の各号のいずれかに該当する者 ① 高等学校を卒業した者又は2020年3月に卒業見込みの者 ② 通常の課程による12年の学校教育を修了した者又は2020年3月に修了見込みの者 ③ 学校教育法施行規則第150条の規定により高等学校を卒業した者と同等以上の学力があると認められる者	課題論文の成績、面接、入学希望理由書を総合して合格者を決定する。	課題論文 面接 (入学希望理由書) (2000字程度)	90分 — } 400

※夜間特別枠については、2020年度入学試験から募集を停止します。

国際環境工学部

学 科	募集人員	出 願 資 格	選 考 方 法	基 礎 学 力 テ ス ト 等		
				時間	配点	
エネルギー循環化学科	若干名	2020年4月1日現在年齢満22歳以上で、出願時において次の各号のいずれかに該当する者 ① 高等学校を卒業した者 ② 通常の課程による12年の学校教育を修了した者 ③ 学校教育法施行規則第150条の規定により高等学校を卒業した者と同等以上の学力があると認められる者	総合問題と面接をそれぞれ点数化し、合格点をもとに総合的に判断して合格者を決定する。なお、調査書・入学希望理由書は面接の際の資料とする。	総合問題 (注1)	120分	40
機械システム工学科	若干名				面接 (注2)	—
情報システム工学科	若干名					
建築デザイン学科	若干名					
環境生命工学科	若干名					

- (注1) 自然科学、工業技術、環境技術を題材として、理数系(数学、物理、化学)の基礎的な理解力、思考力、表現力を総合的に評価します。ただし、環境生命工学科は「生物」の選択も可とします。
また、建築デザイン学科については、造形とそれに関する問題を含みます。
(注2) 面接では、口頭試問を実施する場合があります。

(5) 帰国子女学生特別選抜

大学入試センター試験は課しません。

学 部	学 科	募集 人員	出 願 資 格	選考方法	個 別 学 力 検 査 等		
					科 目 等	時 間	配 点
外国語学部	英 米 学 科	若干名	保護者の海外在留により外国において学校教育を受けた日本国籍を有する者のうち、2018年4月1日以降に帰国したもので次の各号のいずれかに該当する者。 ① 外国において、学校教育における12年の課程を修了した者又は2020年3月31日までに修了見込みの者（上記12年の課程には、日本における通常の課程による学校教育期間も含まれるが、外国において最終学年も含めて2年以上継続して学校教育を受けていることを必要とする。ただし、外国に設置されている学校であっても、日本の学校教育法に準拠している学校に在学した者については、その期間を外国において教育を受けた期間とはみなさない。） ② 外国において、スイス民法典に基づく財団法人である国際バカロレア事務局が授与する国際バカロレア資格を有する者 ③ ドイツ連邦共和国の各州において、大学入学資格として認められているアビトゥア資格を有する者 ④ フランス共和国において、大学入学資格として認められているバカロレア資格を有する者 ⑤ 英国の大学入学資格として認められているGCE-Aレベル資格を有する者	個別学力検査の成績、面接を総合して合格者を決定する。	日本語小論文 英語小論文 面接	90分 —	200 30
	中 国 学 科	若干名			日本語小論文 面接 TOEFL 又は TOEIC(注1)	90分 — —	70 60 70
	国 際 関 係 学 科	若干名			小論文 面接(注2) (TOEFL又はTOEIC(注1))	90分 —	100 200
経済学部	経 済 学 科	若干名			小論文 面接	90分 —	70 30
	経 営 情 報 学 科	若干名					
文学部	比 較 文 化 学 科	若干名			小論文 面接	90分 —	170 30
	人 間 関 係 学 科	若干名					
法学部	法 律 学 科	若干名			小論文 面接	90分 —	100 100
	政 策 科 学 科	若干名					
国際環境工学部	エネルギー循環化学科	若干名			小論文 面接(注3)	90分 —	60 40
	機械システム工学科	若干名					
	情報システム工学科	若干名					
	建築デザイン学科	若干名					
	環境生命工学科	若干名					

(注1) TOEFL、TOEICの成績は、出願時から遡って2年間の成績を有効とします。提出すべき成績通知書は、TOEFL「受験者控えスコア票」、TOEIC「公式認定証」とします。TOEFLはiBT及びPBT、TOEICはL&Rを対象とします。TOEFL-ITP、TOEIC-IPでは出願できません。

(注2) TOEFL、TOEICの成績は、面接の際の参考とします。

(注3) 面接では、口頭試問を実施する場合があります。

(6) 外国人留学生特別選抜

大学入試センター試験は課しません。

学部	学 科	募集人員	出 願 資 格	選考方法	日 本 留 学 試 験				個別学力検査等			配点 合計																				
					利用年度・回数	文 理	科 目	出題言語	配点	教科・科目	時間		配点																			
外国語学部	英米学科	若干名	次のいずれかの要件を満たし、かつ日本国籍を有せず、さらに「出入国管理及び難民認定法」において大学入学に支障のない在留資格を有する外国人で、独立行政法人日本学生支援機構が実施する「日本留学試験」において、出願する学部・学科が指定する利用年度・回数 ⁽¹⁾ の科目を受験した者(文学部人間関係学科は、「日本語(マーク・記述)」450点満点中270点以上の者) ① 外国において学校教育における12年の課程を修了した者又は入学の前年度までに修了見込みの者又はこれに準ずる者として文部科学大臣の指定したもの ② 外国において、スイス民法典に基づく財団法人である国際バカロレア事務局が授与する国際バカロレア資格を有する者 ③ ドイツ連邦共和国の各州において、大学入学資格として認められているアビトゥア資格を有する者 ④ フランス共和国において、大学入学資格として認められているバカロレア資格を有する者 ⑤ 英国の大学入学資格として認められているGCE-Aレベル資格を有する者 ⑥ 外国人を対象に教育を行うことを目的として我が国において設置された教育施設であって、その教育活動等について文部科学省が定める団体(WASC、CIS、ACSI)の認定を受けたものに置かれる12年の課程を修了した者又は2020年3月までに修了見込みの者	「2018年度日本留学試験」の第1回又は第2回、「2019年度日本留学試験」の第1回又は第2回のいずれか	文 理 系	日本語(マーク)	英語・日本語	— (注1)	日本語小論文 面接 (TOEFL又はTOEIC注2)	90分 —	100 30	130																				
	中国学科	若干名											日本語(マーク・記述)	英語・日本語	100 (注3) 50	面接(注4) (TOEFL又はTOEIC注2)	—	40	190													
	国際関係学科	若干名											日本語(マーク・記述)	英語・日本語	100 (注3) 100	面接(注4) (TOEFL又はTOEIC注5)	—	60 60	320													
経済学部	経済学科	若干名											日本留学試験の成績、個別学力検査等の成績を総合して合格者を決定する。	「2019年度日本留学試験」の第1回又は第2回	文 理 系	日本語(マーク)	日本語 日本語	40 20 20	小論文 面接	90分 —	100 — (注6)	180										
	経営情報学科	若干名																					日本語(マーク・記述)	英語・日本語	100 (注3) 100	面接(注4) (TOEFL又はTOEIC注5)	—	60 60	320			
文学部	比較文化学科	若干名																					日本留学試験の成績、個別学力検査等の成績を総合して合格者を決定する。	「2019年度日本留学試験」の第1回又は第2回	文 理 系	日本語(マーク・記述)	日本語 日本語	— (注1)	集団討論 面接 (TOEFL又はTOEIC注2)	— —	60 120	180
	人間関係学科	若干名	日本語(マーク・記述)	日本語	100 — (注7)	集団面接による 口頭試問(注8)	—	180	280																							
法学部	法律学科	若干名	日本留学試験の成績、個別学力検査等の成績を総合して合格者を決定する。	「2019年度日本留学試験」の第1回又は第2回	文 理 系	日本語(マーク)	日本語 日本語	— (注1)	日本語小論文 (辞書持込可 但し、電子辞書不可) 面接	90分 —	100 100	200																				
	政策科学科	若干名																														
国際環境工学部	エネルギー循環化学科	若干名											日本留学試験の成績、個別学力検査等の成績を総合して合格者を決定する。	「2019年度日本留学試験」の第1回又は第2回	文 理 系	日本語(マーク・記述)	日本語 日本語	20 20 20	面接(注9)	—	90	150										
	機械システム工学科	若干名																														
	情報システム工学科	若干名																					数学(コース2)	日本語	20							
	建築デザイン学科	若干名																					※環境生命工学科の理科については、物理、化学、生物から2科目選択。	日本語	20							
	環境生命工学科	若干名	面接(注9)	—	90																											
環境生命工学科	若干名	面接(注9)	—	90																												

- (注1) 日本留学試験の成績は面接の際の参考としますので、指定するすべての教科・科目を受験してください。
- (注2) TOEFL、TOEICの成績は、出願時から遡って2年間の成績を有効とし、面接の際の参考とします。なお、提出すべき成績通知書は、TOEFL「受験者控えスコア票」、TOEIC「公式認定証」とします。TOEFLはiBT及びPBT、TOEICはL&Rを対象とします。TOEFL-ITP、TOEIC-IPでは出願できません。
- (注3) 日本語の配点には、記述式の成績を加えたものとします。
- (注4) 面接に際しては、入学希望理由書も評価の対象とします。
- (注5) TOEFL、TOEICの成績は、出願時から遡って2年間の成績を有効とします。提出すべき成績通知書は、TOEFL「受験者控えスコア票」、TOEIC「公式認定証」とします。TOEFLはiBT及びPBT、TOEICはL&Rを対象とします。TOEFL-ITP、TOEIC-IPでは出願できません。
- (注6) 面接はABCの3段階で評価し、就学上問題があると認められる場合には、個別学力試験等の成績に関わらず不合格とします。
- (注7) 日本留学試験「総合科目」の成績は面接の際の参考としますので、受験してください。
- (注8) 集団面接による口頭試問は、入学希望理由書の内容に関するものと面接者の質問に基づき実施します。
- (注9) 面接では、口頭試問を実施する場合があります。

(7) 編入学（学士入学を含む）

大学入試センター試験は課しません。

学部	学科	募集人員	出願資格	選考方法	個別学力検査等		
					科目等	時間	配点
外国語部	英米学科	若干名	【外国語・文学部】 次の各号のいずれかに該当する者 【経済・法学部】 TOEFL スコア BT45点 (PBT453点) (注1) 以上、または、TOEIC L&R スコア450点 (注1) 以上のスコアを有する者で、次の各号のいずれかに該当するもの 【国際環境工学部（一般選抜）】 次の各号のいずれかに該当し、かつ別表で指定する科目(単位の記載があるものについてはその単位数)を修得した者又は2020年3月31日までに修得する見込みのある者 ① 本学または他の4年制大学を卒業(2020年3月までに卒業見込みを含む)し、本学の学部に入学を希望する者 ② 学校教育法(昭和22年法律第26号)第104条第4項の規定により学士の学位を授与された者又は2020年3月31日までに授与される見込みの者 ③ 短期大学を卒業した者又は2020年3月までに卒業見込みの者 ④ 高等専門学校を卒業した者又は2020年3月に卒業見込みの者 ⑤ 学校教育法施行規則(昭和22年文部省令第11号)附則第7条第1項に定める従前の規定による学校の課程を修了し、又はこれらの学校を卒業した者 ⑥ 他の新制大学2年次を修了した者又は2020年3月までに修了見込みの者(ただし、国際環境工学部は、他の新制大学に2年以上在学し62単位以上修得した者又は2020年3月までに2年以上在学し62単位以上修得見込みの者) ⑦ 専修学校の専門課程(修業年限が2年以上で、かつ、専門課程の修了に必要な総授業時数が1700時間以上であること)を修了した者又は2020年3月までに修了見込みの者 ⑧ 外国において、学校教育における14年の課程を修了した者(2020年3月までに修了見込みの者を含む) ⑨ 我が国において、外国の短期大学の課程(その修了者が当該外国の学校教育制度における14年の課程を修了したとされるものに限る)を有するものとして当該外国の学校教育制度において位置づけられた教育施設であって、文部科学大臣が別に指定するものの課程を修了した者 ⑩ 高等学校(中等教育学校の後期課程及び特別支援学校を含む。)の専攻科の過程(修業年限が2年以上であることその他の文部科学大臣の定める基準を満たすものに限る。)を修了した者(学校教育法第90条第1項に規定する者に限る。)又は2020年3月までに修了見込みの者 (別表)	個別学力検査の成績、面接、入学希望理由書を総合的に判断して合格者を決定する。	英語 面接 (入学希望理由書)	90分 —	100 30
	中国学科	若干名			中国語 (リスニングを含む) 面接 (入学希望理由書)	90分 —	160 40
	国際関係学科	若干名			小論文 (TOEFL 又は TOEIC (注1)) 面接 (注2) (入学希望理由書)	90分 —	100 200
経済学部	経済学科	若干名	① 本学または他の4年制大学を卒業(2020年3月までに卒業見込みを含む)し、本学の学部に入学を希望する者 ② 学校教育法(昭和22年法律第26号)第104条第4項の規定により学士の学位を授与された者又は2020年3月31日までに授与される見込みの者 ③ 短期大学を卒業した者又は2020年3月までに卒業見込みの者 ④ 高等専門学校を卒業した者又は2020年3月に卒業見込みの者 ⑤ 学校教育法施行規則(昭和22年文部省令第11号)附則第7条第1項に定める従前の規定による学校の課程を修了し、又はこれらの学校を卒業した者 ⑥ 他の新制大学2年次を修了した者又は2020年3月までに修了見込みの者(ただし、国際環境工学部は、他の新制大学に2年以上在学し62単位以上修得した者又は2020年3月までに2年以上在学し62単位以上修得見込みの者) ⑦ 専修学校の専門課程(修業年限が2年以上で、かつ、専門課程の修了に必要な総授業時数が1700時間以上であること)を修了した者又は2020年3月までに修了見込みの者 ⑧ 外国において、学校教育における14年の課程を修了した者(2020年3月までに修了見込みの者を含む) ⑨ 我が国において、外国の短期大学の課程(その修了者が当該外国の学校教育制度における14年の課程を修了したとされるものに限る)を有するものとして当該外国の学校教育制度において位置づけられた教育施設であって、文部科学大臣が別に指定するものの課程を修了した者 ⑩ 高等学校(中等教育学校の後期課程及び特別支援学校を含む。)の専攻科の過程(修業年限が2年以上であることその他の文部科学大臣の定める基準を満たすものに限る。)を修了した者(学校教育法第90条第1項に規定する者に限る。)又は2020年3月までに修了見込みの者 (別表)	個別学力検査の成績、面接、入学希望理由書を総合的に判断して合格者を決定する。	専門試験 (マクロ経済学・ミクロ経済学) 面接 (入学希望理由書)	90分 —	70 30
	経営情報学科	若干名			専門試験 (マネジメント・会計・情報の3分野より各1問:全問解答) 面接 (入学希望理由書)	90分 —	70 30
文学部	比較文化学科	若干名	① 本学または他の4年制大学を卒業(2020年3月までに卒業見込みを含む)し、本学の学部に入学を希望する者 ② 学校教育法(昭和22年法律第26号)第104条第4項の規定により学士の学位を授与された者又は2020年3月31日までに授与される見込みの者 ③ 短期大学を卒業した者又は2020年3月までに卒業見込みの者 ④ 高等専門学校を卒業した者又は2020年3月に卒業見込みの者 ⑤ 学校教育法施行規則(昭和22年文部省令第11号)附則第7条第1項に定める従前の規定による学校の課程を修了し、又はこれらの学校を卒業した者 ⑥ 他の新制大学2年次を修了した者又は2020年3月までに修了見込みの者(ただし、国際環境工学部は、他の新制大学に2年以上在学し62単位以上修得した者又は2020年3月までに2年以上在学し62単位以上修得見込みの者) ⑦ 専修学校の専門課程(修業年限が2年以上で、かつ、専門課程の修了に必要な総授業時数が1700時間以上であること)を修了した者又は2020年3月までに修了見込みの者 ⑧ 外国において、学校教育における14年の課程を修了した者(2020年3月までに修了見込みの者を含む) ⑨ 我が国において、外国の短期大学の課程(その修了者が当該外国の学校教育制度における14年の課程を修了したとされるものに限る)を有するものとして当該外国の学校教育制度において位置づけられた教育施設であって、文部科学大臣が別に指定するものの課程を修了した者 ⑩ 高等学校(中等教育学校の後期課程及び特別支援学校を含む。)の専攻科の過程(修業年限が2年以上であることその他の文部科学大臣の定める基準を満たすものに限る。)を修了した者(学校教育法第90条第1項に規定する者に限る。)又は2020年3月までに修了見込みの者 (別表)	個別学力検査の成績、面接、入学希望理由書を総合的に判断して合格者を決定する。	小論文 面接 (入学希望理由書)	90分 —	170 30
	人間関係学科	若干名			小論文 面接 (入学希望理由書)	90分 —	140 60
法学部	法律学科	若干名	① 本学または他の4年制大学を卒業(2020年3月までに卒業見込みを含む)し、本学の学部に入学を希望する者 ② 学校教育法(昭和22年法律第26号)第104条第4項の規定により学士の学位を授与された者又は2020年3月31日までに授与される見込みの者 ③ 短期大学を卒業した者又は2020年3月までに卒業見込みの者 ④ 高等専門学校を卒業した者又は2020年3月に卒業見込みの者 ⑤ 学校教育法施行規則(昭和22年文部省令第11号)附則第7条第1項に定める従前の規定による学校の課程を修了し、又はこれらの学校を卒業した者 ⑥ 他の新制大学2年次を修了した者又は2020年3月までに修了見込みの者(ただし、国際環境工学部は、他の新制大学に2年以上在学し62単位以上修得した者又は2020年3月までに2年以上在学し62単位以上修得見込みの者) ⑦ 専修学校の専門課程(修業年限が2年以上で、かつ、専門課程の修了に必要な総授業時数が1700時間以上であること)を修了した者又は2020年3月までに修了見込みの者 ⑧ 外国において、学校教育における14年の課程を修了した者(2020年3月までに修了見込みの者を含む) ⑨ 我が国において、外国の短期大学の課程(その修了者が当該外国の学校教育制度における14年の課程を修了したとされるものに限る)を有するものとして当該外国の学校教育制度において位置づけられた教育施設であって、文部科学大臣が別に指定するものの課程を修了した者 ⑩ 高等学校(中等教育学校の後期課程及び特別支援学校を含む。)の専攻科の過程(修業年限が2年以上であることその他の文部科学大臣の定める基準を満たすものに限る。)を修了した者(学校教育法第90条第1項に規定する者に限る。)又は2020年3月までに修了見込みの者 (別表)	個別学力検査の成績、面接、入学希望理由書を総合的に判断して合格者を決定する。	小論文 面接 (入学希望理由書)	90分 —	100 100
	政策科学科	若干名			小論文 面接 (入学希望理由書)	90分 —	100 100
国際環境工学部 (一般選抜)	エネルギー循環化学科	若干名	① 本学または他の4年制大学を卒業(2020年3月までに卒業見込みを含む)し、本学の学部に入学を希望する者 ② 学校教育法(昭和22年法律第26号)第104条第4項の規定により学士の学位を授与された者又は2020年3月31日までに授与される見込みの者 ③ 短期大学を卒業した者又は2020年3月までに卒業見込みの者 ④ 高等専門学校を卒業した者又は2020年3月に卒業見込みの者 ⑤ 学校教育法施行規則(昭和22年文部省令第11号)附則第7条第1項に定める従前の規定による学校の課程を修了し、又はこれらの学校を卒業した者 ⑥ 他の新制大学2年次を修了した者又は2020年3月までに修了見込みの者(ただし、国際環境工学部は、他の新制大学に2年以上在学し62単位以上修得した者又は2020年3月までに2年以上在学し62単位以上修得見込みの者) ⑦ 専修学校の専門課程(修業年限が2年以上で、かつ、専門課程の修了に必要な総授業時数が1700時間以上であること)を修了した者又は2020年3月までに修了見込みの者 ⑧ 外国において、学校教育における14年の課程を修了した者(2020年3月までに修了見込みの者を含む) ⑨ 我が国において、外国の短期大学の課程(その修了者が当該外国の学校教育制度における14年の課程を修了したとされるものに限る)を有するものとして当該外国の学校教育制度において位置づけられた教育施設であって、文部科学大臣が別に指定するものの課程を修了した者 ⑩ 高等学校(中等教育学校の後期課程及び特別支援学校を含む。)の専攻科の過程(修業年限が2年以上であることその他の文部科学大臣の定める基準を満たすものに限る。)を修了した者(学校教育法第90条第1項に規定する者に限る。)又は2020年3月までに修了見込みの者 (別表)	個別学力検査(英語・数学)と口頭試問・面接の結果を総合的に判断して合格者を決定する。 入学希望理由書は面接の際の資料とする。	英語 数学(微積分、微分方程式、線形代数の範囲から出題) 口頭試問・面接(注3)	60分 90分 —	100 150 200
	機械システム工学科	若干名			英語 数学(微積分、微分方程式、線形代数の範囲から出題) 口頭試問・面接(注4)	60分 90分 —	100 150 200
	情報メディア工学科 (情報システム工学科)	若干名			英語 数学(微積分、微分方程式、線形代数の範囲から出題) 口頭試問・面接(注5)	60分 90分 —	100 150 200
	建築デザイン学科	若干名			英語 数学(微積分、微分方程式、線形代数の範囲から出題) 口頭試問・面接(注6)	60分 90分 —	100 150 200
	環境生命工学科	若干名			英語 数学(微積分、微分方程式、線形代数の範囲から出題) 口頭試問・面接(注7)	60分 90分 —	100 150 200
	環境生命工学科	若干名			英語 数学(微積分、微分方程式、線形代数の範囲から出題) 口頭試問・面接(注7)	60分 90分 —	100 150 200
国際環境工学部 (推薦選抜)	エネルギー循環化学科	若干名	次のいずれにも該当すること ① 工業高等専門学校を2020年3月卒業見込みの者で、在学中の成績が上位に属し、出身学校長が人物・学力優秀と認め、責任をもって推薦する者であること。 ② 合格した場合は、入学を確約できる者であること。	推薦書、調査書(成績証明書含む)、入学希望理由書、面接・口述試験の結果を総合的に判断して合格者を決定する。	面接・口述試験	—	100
	機械システム工学科	若干名					
	情報メディア工学科 (情報システム工学科)	若干名					
	建築デザイン学科	若干名					
	環境生命工学科	若干名					

(注1) TOEFL、TOEICの成績は、出願時から遡って2年間の成績を有効とします。提出すべき成績通知書は、TOEFL「受験者控えスコア票」、TOEIC「公式認定証」とします。TOEFL-ITP、TOEIC-IPでは出願できません。

(注2) TOEFL、TOEICの成績は、面接の際の参考とします。

(注3) 口頭試問は化学に関する専門知識とします。

(注4) 口頭試問は機械力学、材料力学、流体力学、熱力学に関する専門知識とします。

(注5) 口頭試問は電子情報工学に関する専門知識とします。

(注6) 口頭試問は建築に関する専門知識とします。

(注7) 口頭試問は化学・生物学・環境工学に関する専門知識とします。

※ 編入年次について

編入年次は学部・学科で異なります。外国語学部の編入年次は3年次です。経済学部・法学部・国際環境工学部については、単位認定後の認定単位数により編入年次が決まりますので、3年次または2年次です。文学部については、比較文化学科は3年次、人間関係学科は原則として2年次です。